

気象に関する参考資料

-台風・熱帯低気圧・温帯低気圧について-

2021年9月
福島地方気象台

台風は、毎年のようにわが国に襲来し、きわめて大きな災害をもたらすことがあります。

台風により福島県に大きな影響が予想される場合に、福島地方気象台では台風に関する情報などを発表します。それらの情報を有効に利用し、災害を防止・軽減するためには、**台風に関する正しい知識が不可欠です。**

台風は一般に熱帯低気圧→台風→温帯低気圧と変化していきませんが、必ずこの順序に従うわけではありません。令和3年台風第9号は温帯低気圧に変わってから更に発達し、青森県に被害をもたらしました。**台風が温帯低気圧に変わっても、更に発達し、広い範囲で強い風や雨の影響を受けることがあるので、注意が必要です。また、台風が熱帯低気圧に変わっても、海水温の高い海域では、再び発達して台風になることもあります。**

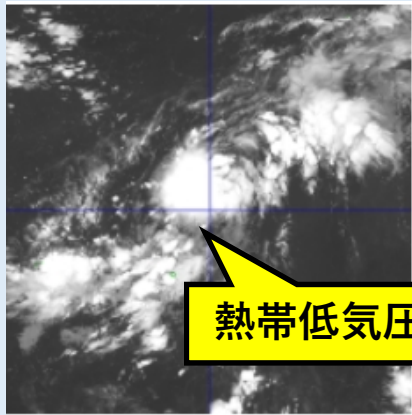
本資料では令和3年台風第9号の事例を交えながら、熱帯低気圧、台風、温帯低気圧について紹介していきます。

台風の一生

衛星画像（赤外画像）により台風の一生について示します。日本に接近する台風は主に**最盛期**と**衰弱期**のものが多いです。

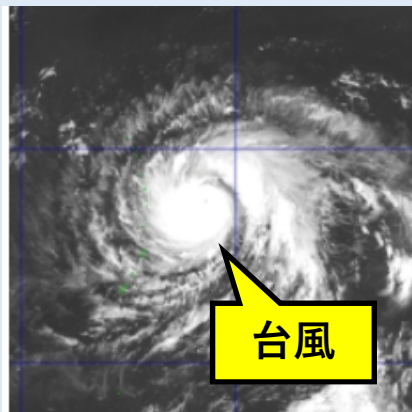
発生期

台風は赤道付近の海上で多く発生します



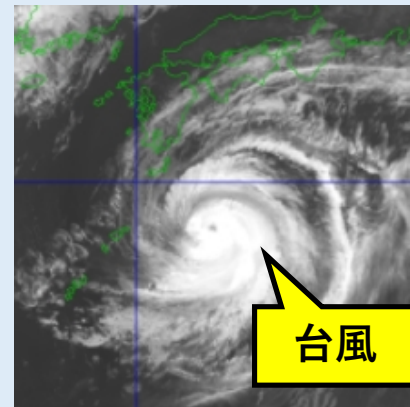
発達期

台風となってから中心気圧が下がり勢力が最も強くなるまでの期間です



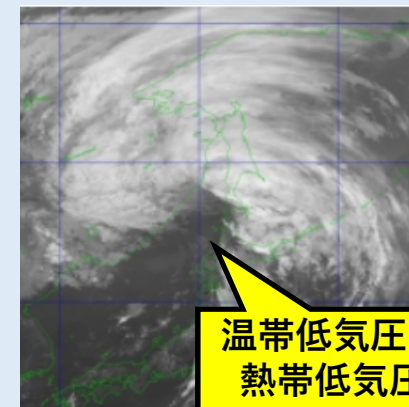
最盛期

中心気圧が最も下がり**最大風速が最も強い期間**です



衰弱期

温帯低気圧や熱帯低気圧に変わります

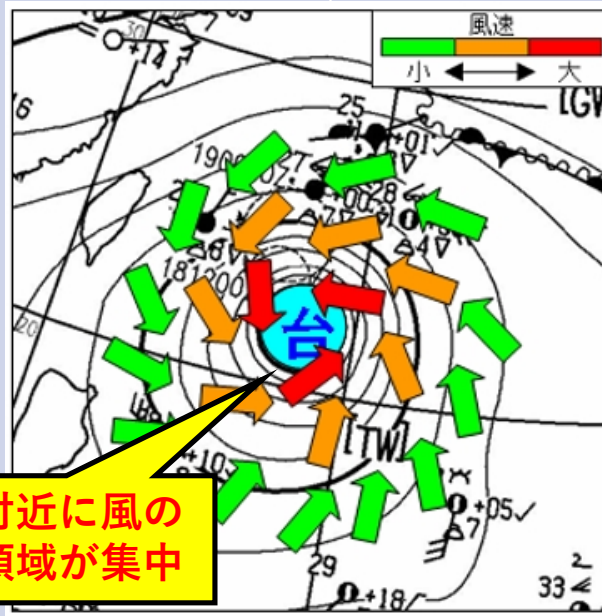


台風と熱帯低気圧、温帯低気圧との違い

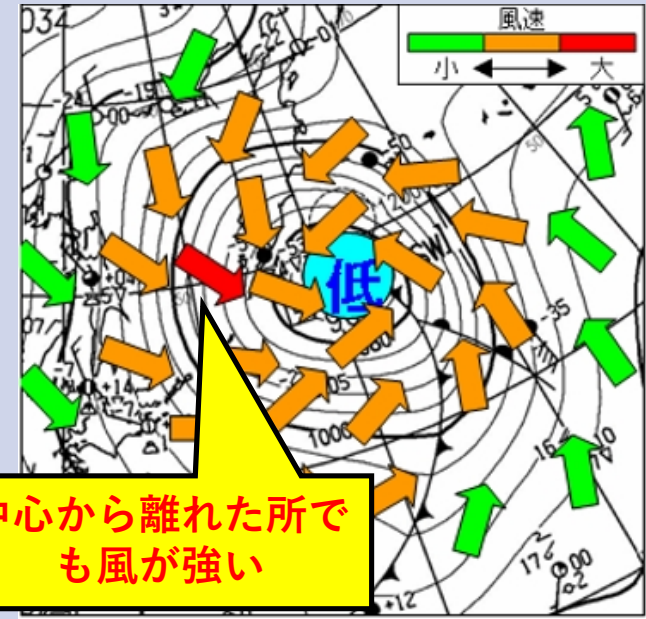
熱帯低気圧、台風、温帯低気圧の違いについては、下表のとおりです。

	熱帯低気圧	台風	温帯低気圧
発生場所	熱帯や亜熱帯の海上	熱帯や亜熱帯の海上	北側の寒気と南側の暖気の境となる中緯度
風速の定義	約17m/s未満	約17m/s以上	—
構造	水蒸気を多く含む暖気	水蒸気を多く含む暖気	暖気と寒気で構成されている。
前線	なし	なし	前線を伴うことが多い

特徴



中心付近に風の強い領域が集中

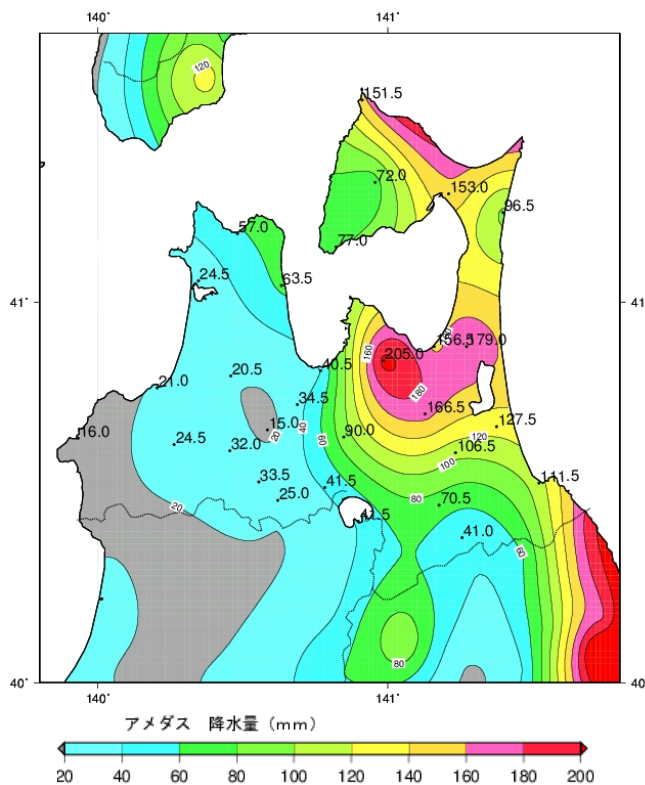
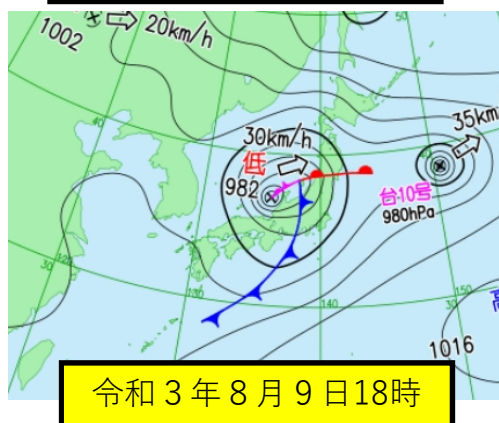
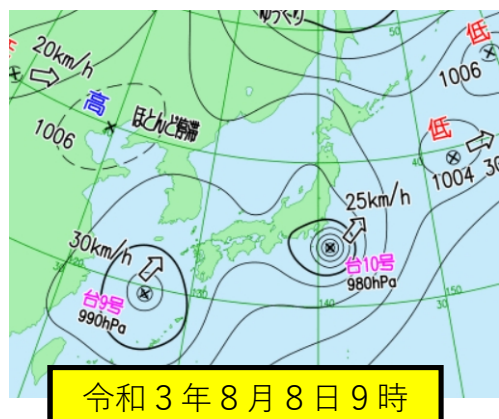


中心から離れた所でも風が強い

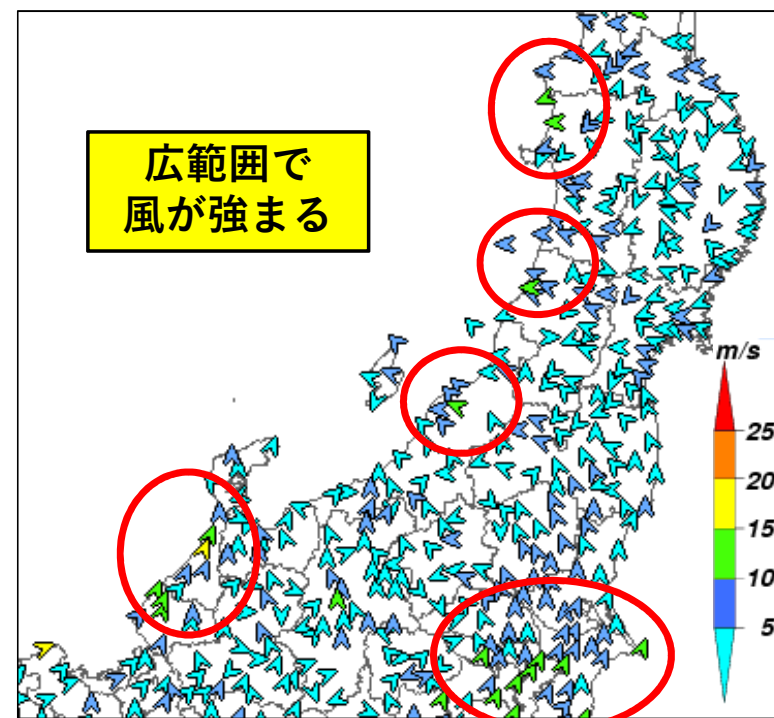
令和3年 台風第9号から変わった温帯低気圧

台風第9号は令和3年8月8日9時の時点で東シナ海に位置しており、発達しながら北上していましたが、その後8月9日9時には温帯低気圧に変わり、更に発達して東北地方へ接近しました。青森県では2日間の総降水量が200mmを超える地域があり、特に被害の大きかったむつ市では土砂災害や浸水害が発生しました。また、低気圧の中心から離れたところでも風が強まりました。

このように、**温帯低気圧に変わってから更に発達して、雨や風が強くなり、災害が発生する事がありますので注意や警戒が必要です。**



青森県の期間降水量分布図
(積算期間:令和3年8月9日から8月10日までの2日間)



アメダス風向・風速 令和3年8月9日18時